



産業科学研究所 定例記者会見 (第16回)

10月28日(火) 大阪大学中之島センター(2F 講義室 201)にて実施

❖ 概要および発表内容

大阪大学産業科学研究所(産研)では、毎月の定例記者会見を実施しております。産研は、今年で75周年を迎える歴史ある研究所であり、文字どおり「産業に生かす科学」を目的として、「材料」、「情報」、「生体」および「ナノテクノロジー」の分野で基礎から応用に至る広い分野で研究・教育を推進しています。記者会見では、最新の研究動向、成果、今後の発展等について、わかりやすい情報を発信します。第16回の定例会見を、以下のとおり実施しますので、ご参加ください。

【開催日時】10月28日(火)13時30分から ※通常の会見と日時が異なります。

【開催場所】大阪大学中之島センター2F講義室201



八木 康史

やぎ やすし

産業科学研究所 所長

【発表1】 創立75周年記念事業のご案内

大阪大学産業科学研究所(産研)は、関西財団の肝いりで1939年11月に関西の理研を目標に設立され、現在は27の研究分野を擁する我が国国有数の総合理工学研究所として発展し、創立75周年を迎えました。この間、電子レンジの普及に貢献したマグネトロンの実用化研究やペニシリンの化学合成法の発見等をはじめとして、基礎研究に基づいた応用研究が数多く展開され、我々の生活に役立つ研究開発がすすめられてきました。産研では、今年はじめに産研創立75周年記念事業委員会を設置し、11月・12月の主要イベント開催を目指して計画を進めております。

また、11月中旬までには75周年記念誌が完成する予定です。11月27日には、「報道関係者への研究室公開・記者会見」、28日には特別講演、記念式典、祝賀会、29日には記念学術講演会が開催されます。そのほか、産研テクノサロン・スペシャル(11/7)や産研国際シンポジウム(12/10-12)なども実施されます。今回は、これらの記念行事の詳細について紹介させていただきます。



松本 和彦

まつもと かずひこ

産業科学研究所
半導体量子科学研究分野
教授

【発表2】「脳と心～ハピネス社会の実現に向けて」 2014年度 大阪大学COIワークショップを開催

文部科学省の革新的イノベーション創出事業(COI STREAM)における大阪大学COI拠点の2014年度のワークショップを11月21日(金)に千里ライフサイエンスセンタービルにて開催します。

大阪大学COI拠点は「人間力活性化によるスーパー日本人の創出」をテーマに掲げ、医学、脳科学、理工学の融合を図り人間力を測定し、最適環境、最適刺激に依る人間力の活性化を目指しています。

今回のワークショップでは、心の進展とハピネスについて、高野山傳燈大阿闍梨で種智院大学名誉教授の山崎泰廣(やまざき たいこう)氏に基調講演を、またサイエンス側から情報通信研究機構:脳情報通信融合研究センター長/大阪大学名誉教授の柳田敏雄氏に、日本で最高性能の超高強磁気共鳴装置を用いた脳画像の観察と脳の機能解明・人の性格と脳情報についてお話していただきます。これらのお話をもとに、「心は脳が生み出すのか？」をテーマに、両氏に加え、金沢大学子どものこころ発達研究センター長三邊義雄氏・パナソニック清野正樹氏・本学COI拠点プロジェクトリーダー上野山雄氏の5名で、パネルディスカッションを行っていただきます。また、阪大COIが目指す10年後の姿の実現についても議論していただきます。

記者会見では、本ワークショップの詳細について紹介させていただきます。



大阪大学
OSAKA UNIVERSITY

国立大学法人 大阪大学

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 1-1

TEL: 06-6877-5111 (代)

www.osaka-u.ac.jp

Press Release



開発 邦宏

かいはつ ひろ

産業科学研究所
医薬品化学研究分野
特任准教授

【発表3】産開発のベンチャーから新カテキン技術を用いた 感染対策マスク(第1弾製品)の製品化が決定

大阪大学産業科学研究所は、大学発ベンチャー株式会社プロテクト(大阪府茨木市)と共同で、カテキン由来のウイルス捕集技術「CateProtect/カテプロテクト」の実用化に取り組んで参りました。この度、産学連携での実用化第1弾製品であるマスクが株式会社プロテクトから発売されることになりました(2014年11月下旬販売開始予定)。

【マスク開発の背景】

近年、冬場になるとインフルエンザやノロウイルスなど様々なウイルス感染症が話題になります。また新型インフルエンザに代表される新興ウイルスのパンデミック発生に対する危機意識の高まりもあり、あらゆる場面での感染対応が必要とされています。

大阪大学産業科学研究所と大学発ベンチャー プロテクトは、この未曾有の危機に対処するべく、感染対策部材の開発に取り組んできました。そして今回は、産業科学研究所で開発されたカテキン誘導体の抗ウイルス・抗菌効果をもとに、株式会社プロテクトでそのウイルス捕集技術を効果的に発揮する新カテキン技術「CateProtect」の実用化を達成しました。その第1弾製品として、CateProtect加工フィルターを搭載したマスクの開発が完了し、今冬の発売に至りました。

当日は、産学連携の結晶により生まれた新カテキン技術を利用したマスクの開発事例を紹介させていただきます。